

目指す将来像

「文化共創都市、大阪」 ～文化芸術がいのち輝く未来をつくる～

基本理念

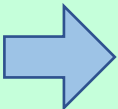
あらゆる人々が文化を享受し
いきいきと活動できる都市

文化芸術活動の場として
選ばれる都市

文化力を活用した
世界に誇れる魅力あふれる都市

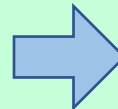
施策の方向性

A 文化にかかわる環境づくり



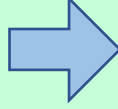
- ① 芸術文化における鑑賞・参加の機会等の充実
- ② 芸術文化を将来へ承継発展させる子どもや青少年が成長する機会の充実
- ③ 芸術文化を支える市民意識の醸成

B 文化が都市を成長させる



- ① 芸術文化を創造する人材や支える人材の育成・支援
- ② 上方伝統芸能等の承継・発展
- ③ 芸術文化による大阪の魅力向上
- ④ 文化と経済等の連携を通じた持続可能な成長・発展

C 文化が社会を形成する



- ① 芸術文化の有する地域力向上や社会包摂の機能を生かした共生への取り組みの促進
- ② 文化財や史跡の保存・活用・承継

1 目指す将来像

「文化共創都市、大阪」～文化芸術がいのち輝く未来をつくる～

文化芸術は、人々の創造性を育み、表現力を高め、さらには、心のつながりや相互理解、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものです。また、都市ブランドの形成や地域経済、産業の活性化など、社会の様々な分野の発展にも寄与するものでもあります。そのような社会的価値や公益性を有する文化芸術は、人が生きていくために欠かすことのできないものであり、年齢、障がいの有無、経済的な状況や居住する地域に関わらず等しく、文化芸術を創造し、享受できる環境を整備することなどが求められています。

私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の困難や不安の中で、文化芸術が、人々の心を豊かにし、生きる糧となるものであったことを改めて認識しました。
さらに、多様性、包摂性、持続可能性をキーワードとした新たな社会の実現や、地球規模での課題に対して、国際社会が連携・協調し、その解決を図ろうという動きが活発になる中、人々のウェルビーイングの向上を図るためにも、文化芸術が果たすべき役割が増大しています。

今一度、文化芸術の役割を再認識し、その価値をより一層高めていくとともに、地域の文化力の向上、観光、まちづくりなど、関連する分野における施策との有機的な連携を通じて、都市全体の魅力のさらなる向上を図る必要があります。そして、文化芸術は、今後も、創造的な社会・経済活動の源泉として、新たな価値や収益を生み、それが本質的価値の向上のために再投資されるといった好循環を通じて、社会の持続的な発展、都市の活力の向上に寄与し続けていくことが期待されています。
さらに、大阪にある多彩で豊かな文化芸術を、途絶えることなく次世代へと継承していかなければなりません。

2025年、大阪において「いのち輝く未来社会」をテーマとした2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催されました。このテーマは、人間一人ひとりが、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、国際社会が共創していくことを推し進めるものです。この実現に向けて、あらゆる施策において取り組んでいくことが、求められています。この点においても、文化芸術は重要な役割を担っています。

これらの背景を踏まえ、大阪は、一人ひとりの多様な価値観を尊重しつつ、様々な立場の人々が、大阪の文化芸術を“共に創り”、支え、育み、その価値を高め、心豊かで活力溢れ、心躍る幸福な生き方ができるよう『「文化共創都市大阪」～文化芸術がいのち輝く未来をつくる～』を目指す将来像として掲げ、誰もが、文化芸術を通じて、自分らしくいきいきとした人生を送ることができる都市、そして世界に誇れる都市を目指します。

2 基本理念

基本理念	都市のイメージ
あらゆる人々が文化を享受し いきいきと活動できる都市	府民市民の自主性、創造性が発揮されることはもとより、あらゆる人々が年齢、障がいの有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞、参加、創造できるような環境が整備され、途絶えることなく次世代へと継承されている。 そして、<u>誰ひとり取り残されず、あらゆる人々が文化芸術を通じて社会参加し、心のつながりや相互理解が広がり、多様性を受け入れ、尊重し合う土壌が育まれ、心豊かで、誰もがいきいきと活動できるなど、ウェルビーイングが向上する「いのち輝く」社会が形成されている。</u>
文化芸術活動の場として 選ばれる都市	<u>文化芸術関係者、地域、アカデミア、ビジネスなど多様な主体がつながり、共創する社会が構築され、様々な価値の向上を図るとともに、文化芸術に再投資が行われるという好循環が図られ、活力に溢れている。そして、文化芸術の担い手の活動基盤が強化され、活動が活性化するなど、文化芸術の創造環境が整い、大阪が「文化芸術活動の場」として世界から選ばれている。</u>
文化力を活用した 世界に誇れる魅力あふれる都市	<u>世界中から人々が集い、対話し、様々な文化芸術が交流することで、新たなつながりや創造が促進され、自由で多彩な文化芸術活動がより活性化し、大阪の文化力・都市の魅力の更なる向上や世界への貢献につながっている。</u>

3-1 施策の方向性A

A 文化にかかわる環境づくり

文化芸術を創造し、享受することが人々の生まれながらの権利であり、人々のウェルビーイングの向上を図るものであることに鑑み、大阪市では、あらゆる人々が年齢などにかかわらず、芸術文化を鑑賞、参加できるような機会を創出するとともに、芸術文化を継承発展させる子どもや青少年が芸術文化を通じて成長する機会の充実や芸術文化を支える市民意識の醸成に取り組みます。

4-1 具体的な取り組みA

① 芸術文化における鑑賞・参加の機会等の充実

- 子ども、高齢者、障がい者、外国人など、あらゆる人々が芸術文化を鑑賞、参加できるような機会の提供に取り組みます。
- 個々に特色のある博物館・美術館施設の活用により、良質で多様な芸術文化に触れることのできる機会の充実を図ります。

② 芸術文化を将来へ継承発展させる子どもや青少年が成長する機会の充実

- 次代を担う子どもや青少年の創造性、感性等を育み、大阪の芸術文化を将来へ継承発展させていくため、幼い頃から良質で多様な芸術文化に直接触れ、身近に親しむ機会の一層の充実に努めます。
- 文楽や能楽、音楽等大阪が誇る文化資源の鑑賞・体験授業の実施により、良質で多様な芸術文化に触れることのできる機会の充実を図ります。

③ 芸術文化を支える市民意識の醸成

- 芸術文化団体を支援する「なにわの芸術応援募金」等をより一層活用していくほか、寄付者のニーズを把握しながら、芸術文化に対して寄付しやすい環境づくりや、芸術文化活動への民間資金の導入・活用方策についても検討し、これまで大阪市民が築いてきた寄付文化を継承、発展させ、文化の振興に寄与する取り組みを進めます。

3-2 施策の方向性B

B 「文化が都市を成長させる」

芸術文化の担い手等の人材の育成・支援をはじめ、上方伝統芸能の継承・発展、多様な芸術文化の交流や新たな芸術文化の創造を通じて、世界に誇れる都市としての大阪の魅力向上に取り組めます。

4-2 具体的な取組みB

① 芸術文化を創造する人材や支える人材の育成・支援

- アーティスト等による多様な活動が繰り広げられる都市となるよう、芸術文化活動に対する助成や、これからの活躍が期待されるアーティスト等に活動・発表機会を提供するとともに、芸術文化を支える人材の育成・支援に取り組めます。
- 将来の大阪芸術文化を担う、今後の活躍が記載される若手アーティストへ贈呈している「咲くやこの花賞」をはじめとした顕彰を実施していきます。
- 舞台芸術創造の場である芸術創造館の活性化に取り組めます。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況において明らかとなった、芸術文化活動の担い手の活動基盤のせい弱性を踏まえ、芸術文化の担い手が、着実かつ安定的に創造的な文化芸術活動を継続できる環境づくりに努めます。

② 上方伝統芸能等の継承・発展

- 大阪が誇る貴重な上方伝統芸能等の文化資源を後世へ確実に伝えていくため、保護・保存・継承に取り組むとともに、歴史的、文化的価値の理解、普及を図り、あらゆる機会を通じて、その魅力を広く発信していきます。
- 上方伝統芸能や博物館・美術館施設等有する文化資源をいっそう活用し、観光振興や地域経済の活性化につなげる取組みを進めます。

③ 芸術文化による大阪の魅力向上

- 大阪が誇る伝統芸能をはじめとする芸術文化と、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な交流や、歴史と文化が集積する大阪市内各エリアからの芸術文化の発信・交流を通じて、大阪の都市魅力の向上につなげていきます。
- 芸術文化活動の場の充実や、集客・交流を促進する環境整備につながる取組みを進めます。
- デジタル技術の急速な発展により、新たな表現方法や表現の場が生まれていることから、これらを活用した創作活動の展開など新たな芸術文化の創造を支援します。

④ 文化と経済等の連携を通じた持続的な成長・発展

- 文化芸術関係者、地域、アカデミア、ビジネスなど多様な主体の共創を促進します。加えて、営利・非営利の別にかかわらず、創造的な社会・経済活動の源泉としての芸術文化活動における新たな価値や収益等を生み出す取組みへの支援により、それらの価値が本質的価値の向上のために再投資されるといった好循環につなげ、持続可能な成長・発展の実現をめざします。

3-3 施策の方向性C

C 文化が社会を形成する

文化の有する地域力の向上や社会包摂等の機能を生かした取組みや、大阪の文化財・史跡の保存・活用を通じて、多様な人々が集い、対話し、交流する機会の創出や、芸術文化の社会的価値の醸成を図ります。

4-3 具体的な取組みC

①芸術文化の有する地域力向上や社会包摂の機能を生かした共生への取組みの促進

- 各地域における多様で活発な芸術文化活動は、大阪の芸術文化が発展する源泉となるだけでなく、地域コミュニティの形成による地域力の向上とともに、高齢者の生きがいや心豊かな青少年の育成等にもつながることから、それらの活動が活性化されるよう、様々な形での取組み・支援を行います。
- 芸術文化を通じて、様々な人々の対話から生まれる、他者の文化や価値観への理解が深められ共生につながる社会包摂の取組みを教育、福祉、まちづくり等の様々な施策分野において促していきます。

②文化財や史跡の保存・活用・継承

- 国の重要文化財である大阪市中央公会堂や旧桜宮公会堂、泉布観など、近代大阪発展の足跡を残す歴史的文化遺産について、市民の理解のもと保存と活用を図っていきます。
- 史跡難波宮跡は、古代国家の成立を考える上で重要な遺構であるとともに、都市部で遺跡が保存されている貴重な空間であることから、市民が史跡空間を体感し、古代の大阪の歴史への興味、創造を膨らませることができるよう、史跡としての価値と認知度の向上につながる利活用を進めます。

5 計画の推進にあたって

市の役割

- 大阪府とビジョンを共有するもとで、基礎自治体として、文化振興に関する施策に計画的に取り組めます。
- 一方、いにしえから我が国における文化芸術の集積の地として醸成されてきた資源を基に、将来に向かって府や周辺自治体とも役割分担を図りながら、都市大阪の魅力や情報発信力の向上に努めます。

推進体制・進捗管理

- 本計画を着実かつ継続的に推進していくため、施策の実施・進捗状況等について、進捗管理と評価を行います。
- 各施策・事業のプログラム評価については、毎年度大阪アーツカウンシルが行い、その結果や改善提案等について大阪府市文化振興会議に報告します。
- 同審議会では、この報告や本計画の評価指標の状況等を踏まえ、計画全体の進捗状況を把握するとともに、重要な施策等についての審議を行います。

大阪アーツカウンシル

- 大阪の文化施策を推進する仕組みとして、大阪府と大阪市は、平成25年度に大阪府市の附属機関である大阪府市文化振興会議の部会という位置付けのもと「大阪アーツカウンシル」を設置しました。
- 大阪アーツカウンシルは、独立性と専門性を確保しつつ、「評価・審査」、「調査」、「企画」など、大阪における文化芸術のさらなる発展に向けた取り組みを行ってきました。
- 「引き続き、大阪府市の所管事業の評価や補助事業の採択審査等の「評価・審査」、大阪の文化芸術に関する基礎データやアーティストのニーズの把握等の「調査」、文化芸術の担い手へのサポート等の現場支援や文化芸術を活かした新たな提案の実施等の「企画」の取り組みを推進します。
- 今後は、これまでの実績を踏まえながら、文化芸術の担い手を支援し、大阪の文化力の更なる向上につなげるため、引き続き「評価」「審査」を中心としつつ、「調査」や「企画」を強化して、取り組み内容の質を高め、それらの取り組みについて積極的に発信していきます。

評価・検証

■基本的な考え方

本計画全体の進捗把握のため、「施策の方向性」ごとに指標を設け、単年度ごとに評価・検証し、フォローアップを実施します。また、指標については、国の計画の指標に関する議論を参考として設定します。

■指標の位置付け

指標は、その内容の達成を主たる目的とするものではなく、本計画を評価・検証し、フォローアップと改善を行う際のよりどころとして位置付けるものです。そのため、本計画の評価・検証に当たっては、個々の指標に基づく状況で判断するのではなく、指標に基づく全体の状況をもとに進捗状況を適切に把握します。

■指標（施策の方向性・施策と指標）

⇒第3次文化振興計画における指標は次頁のとおり、第4次については、別途検討

■指標（施策の方向性・施策と指標）

施策の方向性と施策	指 標
A 文化にかかわる環境づくり ①芸術文化における鑑賞・参加の機会等の充実 ②芸術文化を将来へ継承発展させる子どもや青少年が成長する機会の充実 ③芸術文化を支える市民意識の醸成	 ○第一級の芸術を鑑賞した市民の満足度 ○授業の一環として芸術文化を鑑賞した学校の満足度 ○未就学児や障がい児等が芸術文化に触れる公演等の実施回数 ○なにわの芸術応援募金の寄附件数
B 「文化が都市を成長させる」 ①芸術文化を創造する人材や支える人材の育成・支援 ②上方伝統芸能等の継承・発展 ③芸術文化による大阪の魅力向上 ④文化と経済等の連携を通じた持続可能な成長・発展	 ○大阪市芸術活動振興事業助成金の申請件数 ○大阪市芸術活動振興事業助成金の活用による新たな取組みへのチャレンジ件数 ○大阪市芸術活動振興事業助成金の利用者が助成を受けることにより期待していた効果の達成度 ○芸術創造館の利用者数
C 文化が社会を形成する ①芸術文化の有する地域力向上や社会包摂の機能を生かした共生への取組みの促進 ②文化財や史跡の保存・活用・継承	 ○なにわの芸術応援募金の寄附件数【再掲】 ○文化財等を活用した芸術文化公演等の実施回数